

# 〔数理情報システム工学科〕

## 36-52 全学向け研究者情報データベースの構築

数理情報システム工学科	教授	宇佐川 毅
技術部電気数理技術系	技術専門官	西村 義隆
	技術官	谷口 勝紀
技術部生産構造技術系	技術官	大嶋 康敬
技術部電気数理技術系	技術官	吉岡 昌雄
		針木 剛
		針木 知技
		寺崎 有里子
技術部		大村 悦彰
情報処理課		中地 訓子
		吉野 美穂

自己点検や外部評価への対応のため、頻繁に各部局での基本情報を收集整理する必要にせまられており、これまで多くの努力がなされている。その一方で、情報提供側からは、同様な情報を異なった様式で提出を求められ、その対応に追われると言う状況があることは、しばしば指摘されてきた。また、収集されているデータの重複や、記述の不統一など、収集されたデータの利活用の際、障害となっていた。

熊本大学には、学務情報システム上に、研究者情報データベースおよび年報情報データベースが構築されており、基本的な研究者情報をこれらに集約されている。しかしながら、部局単位での外部評価や自己点検の際に収集される項目としてはこれらのデータベースの情報のみでは不十分である場合、学務情報システムが全学的な規模で運営され、ソフトウェアの構築を外部委託しているため、短期間での収集項目の変更追加が事実上不可能であった。このため、外部評価等に際して、独自様式での情報収集が行われ、取りまとめの作業のみならず、教官個人の入力に要する負荷もかなりのものであった。

上記のような背景のもと、徳島大学にて開発された「教育・研究者データベース」を熊本大学向けに改編し「独自のデータベース」として構築するプロジェクトが、学長裁量経費として平成15年度認められ、現在鋭意データベースを構築しているところである。

このデータベースは、いわゆるレーショナルデータベースとして構築してある。例えば、ある共著論文を登録するには、すでに登録されている雑誌名や、著者名を参照することにより、表記にブレのない登録が可能になるばかりでなく、共著者を登録することにより、登録者以外の著者の業績としても自動的に参照可能となる。また、データの一括抽出から、それらの印刷までを統一的に処理可能となる。

下記に、現在構築中のデータベースのトップページと、データベース一覧のページを示す。

The left screenshot displays the main interface of the '熊本大学 教育・研究者情報データベース(EDB)'. It includes a header with the university name and a sidebar with navigation links. The main content area features a 'ようこそ『熊本大学 教育・研究者情報データベース(EDB)』へ' (Welcome to the Kumamoto University Education/Researcher Information Database (EDB)) message and a list of tables available for use.

The right screenshot provides a detailed view of the 'テーブル一覧' (Table List) section. It lists various tables such as '研究者' (Researchers), '所属' (Affiliation), '業績' (Achievements), '著作' (Publications), and '学位' (Degrees), each with a brief description and the date of the last update. The tables are organized into a grid, allowing users to quickly find the information they need.